

人事委員会議事録（第1722回）

1 開催日時

令和6年1月15日（月）14:30～16:00

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員	田中基康	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	古川卓哉	事務局長
	井上博尊	給与課長
	中原恵子	任用課副課長兼給与課副課長

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1721回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

学芸員採用選考試験実施要綱決定の件

任用課副課長が標記要綱（案）を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

候補者の実績等をみると、筆記試験を実施する必要があるのか。

（事務局）

正規職員として学芸員に必要とされる知識、経験等を有しているか、能力実証のための筆記試験は必要と考えている。

（委員）

採用選考試験で筆記試験を実施しなかった職種はないのか。

（事務局）

児童自立支援専門員は、夫婦で施設内に住み込み、児童とともに生活しながら自立を支援していくという勤務の特殊性が極めて高く、適任者の確保が極めて難しいため、昨年度、面接試験による採用選考試験を実施した。

（委員）

今後、一定の実務経験や能力が実証できているようなケース等の筆記試験の実施の有無について、一定の考え方を検討すべきである。

報告事項 1

職員勤務実態調査に係る書面調査の結果等

任用課副課長が、標記書面調査の結果を報告するとともに、是正指導案を説明した。

(委員)

ハラスメント防止の取組状況につき、警察本部の対応件数が増えている。処分件数も増えているのか。

(事務局)

懲戒に至らない訓戒等は増えている。警察本部としては、事案の早期解決に努めた結果と認識しているとのこと。

(委員)

超過勤務の状況につき、教育委員会は月 100 時間以上の人数が多くなっているが、これは教員を含む数字か。

(事務局)

教員を含んでいる。

(委員)

このこと自体が大きな課題である。

(委員)

来年度の給与勧告では、全体データだけではなく、こうしたデータにも焦点をあて検討していくべきである。

(委員)

長時間勤務者に対する産業医面接の状況につき、面接指導を受けた職員が教員で非常に多い。他方、知事等では、そのうち面接疲労の蓄積あり、配慮すべき心身の状況のありに該当する人数自体は少ないがその割合が他と比べ高い点にも着目すべきである。

報告事項 2

懲戒処分指針の策定（知事部局）

任用課副課長が、標記指針の内容について説明した。

報告事項 3

任命権者が行った処分

任用課副課長が、知事及び警察本部長が行った 8 件の懲戒処分及び分限処分内容及び理由を説明した。

閉 会